

磐梯山の火山活動解説資料（平成 25 年 8 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～2①）

剣ヶ峯（山頂の北約 7km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁からの噴気の高さは 50m 以下で噴気活動は低調に経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2②～⑥、図 3）

18 日には山頂付近を震源とする地震が一時的に増加しましたが、今期間の火山性地震は少ない状況となっています。

火山性地震が連続して発生した前後の期間を含め、傾斜計および空振計、表面現象に変化は認められませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（8 月 26 日 05 時 30 分頃）

- ・ 剣ヶ峯（山頂の北約 7km）に設置してある遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 50m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 9 月分）は平成 25 年 10 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

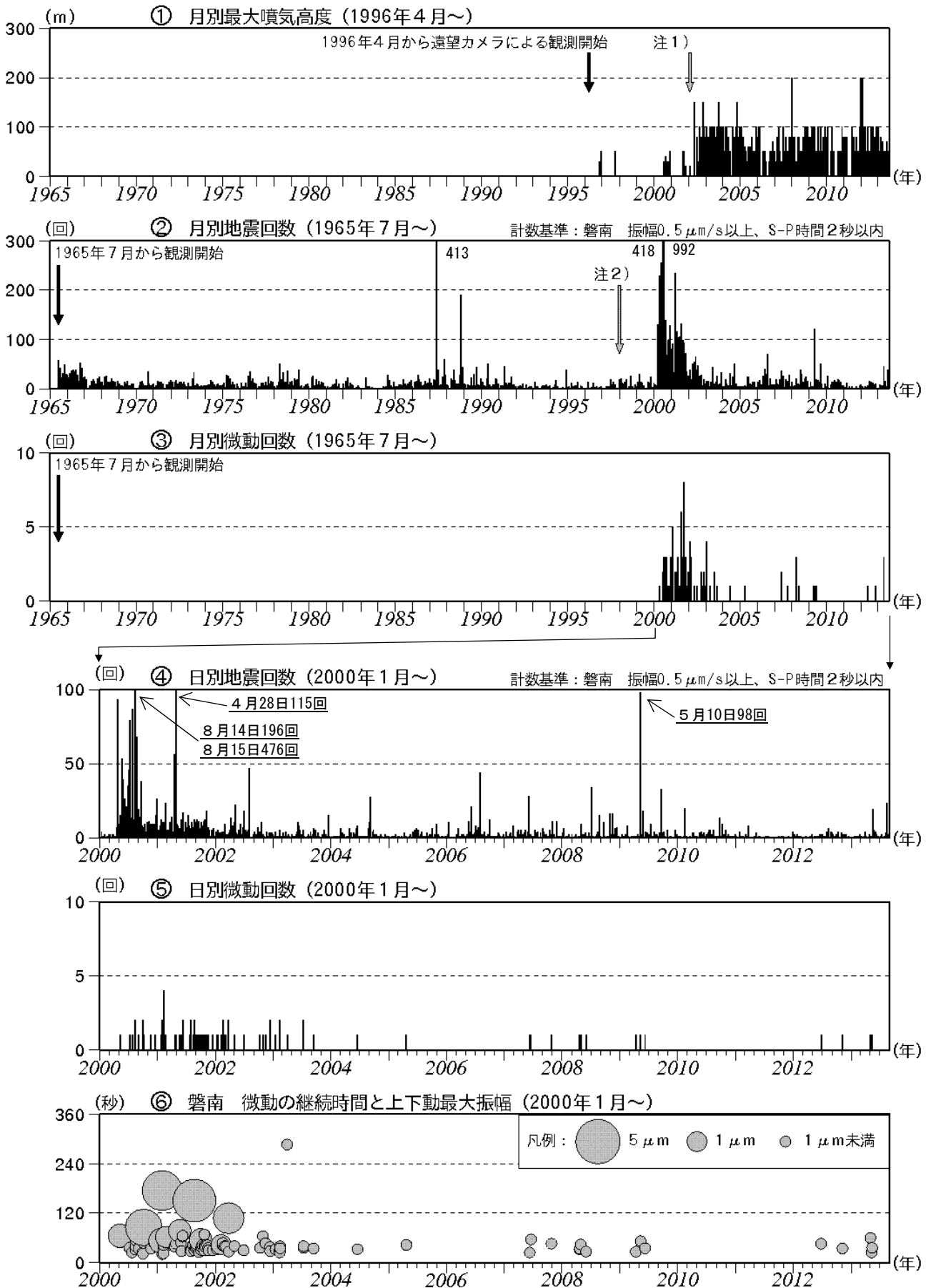


図2 磐梯山 火山活動経過図 (1965年7月～2013年8月)

- ①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

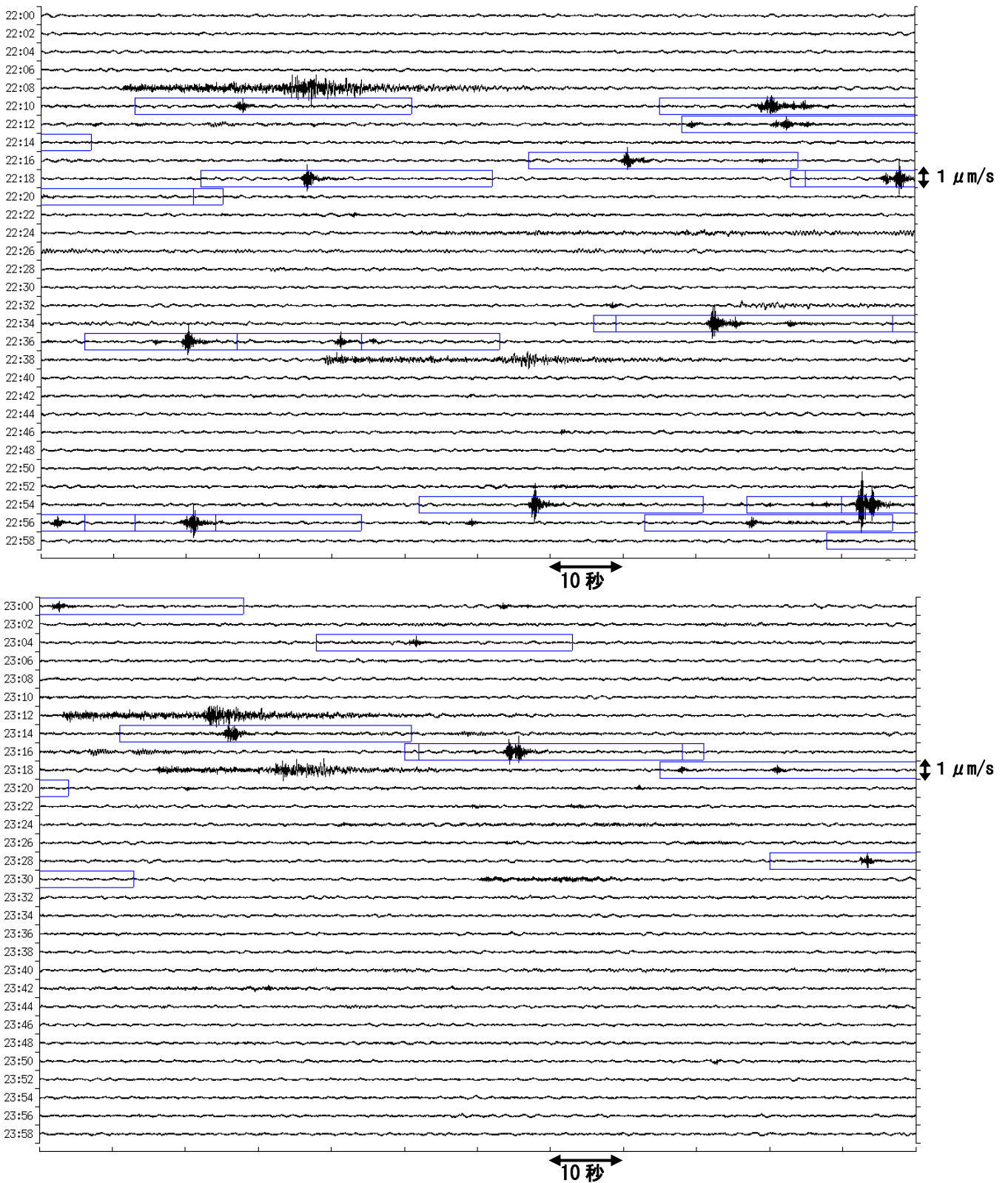


図3 磐梯山 8月18日の火山性地震
 上段：22時00分～22時59分
 下段：23時00分～23時59分

磐南観測点（磐梯山山頂の南約2km、基準点）の上下成分

22時10分から23時30分にかけて、火山性地震が増加しました（合計23回）。

震源は全て山頂付近です。

この地震の前後で傾斜計に変化は見られませんでした。

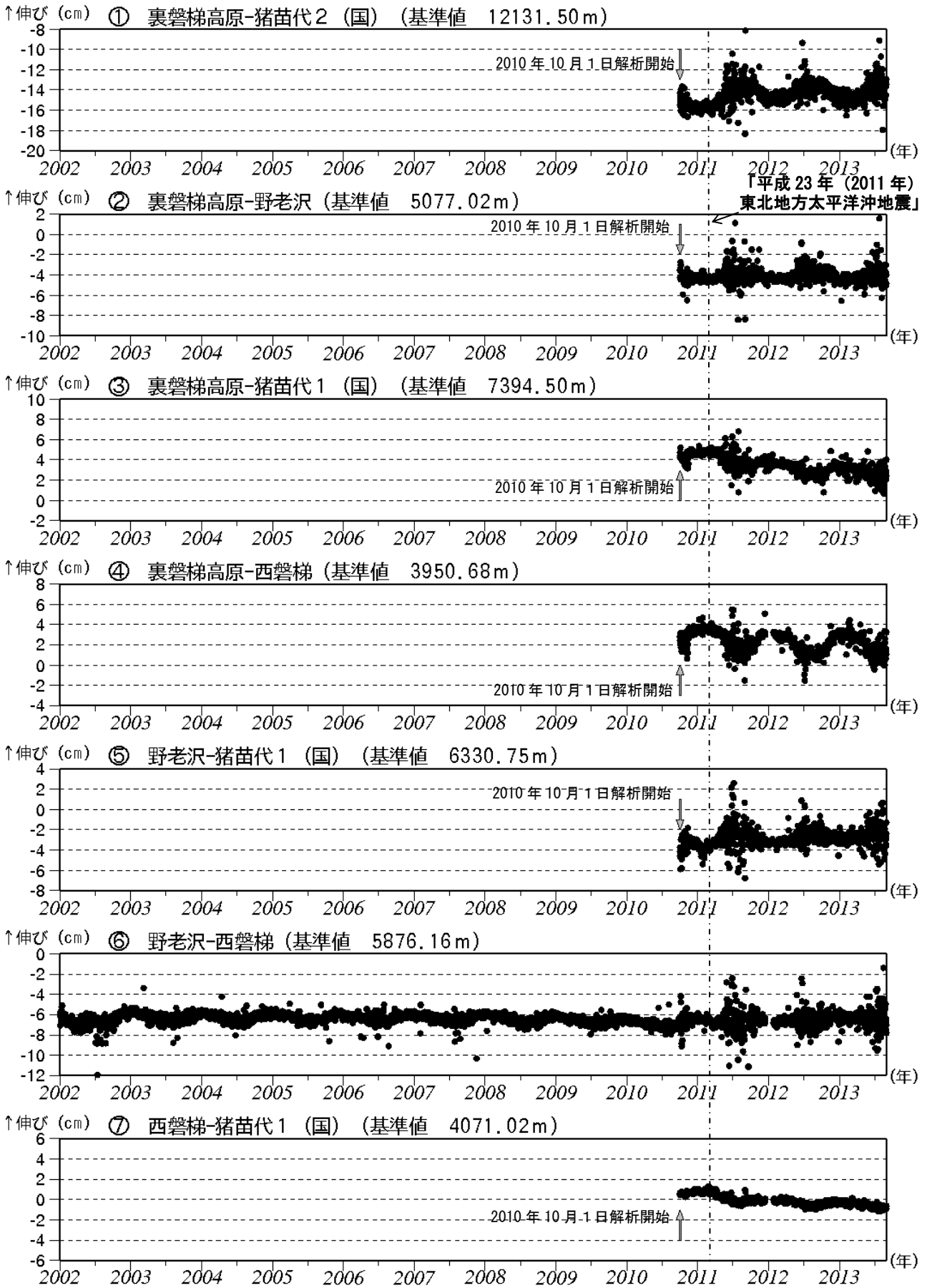


図4 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002年1月~2013年8月)

- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
 - ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・①~⑦は図6のGPS基線①~⑦に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- (国) : 国土地理院

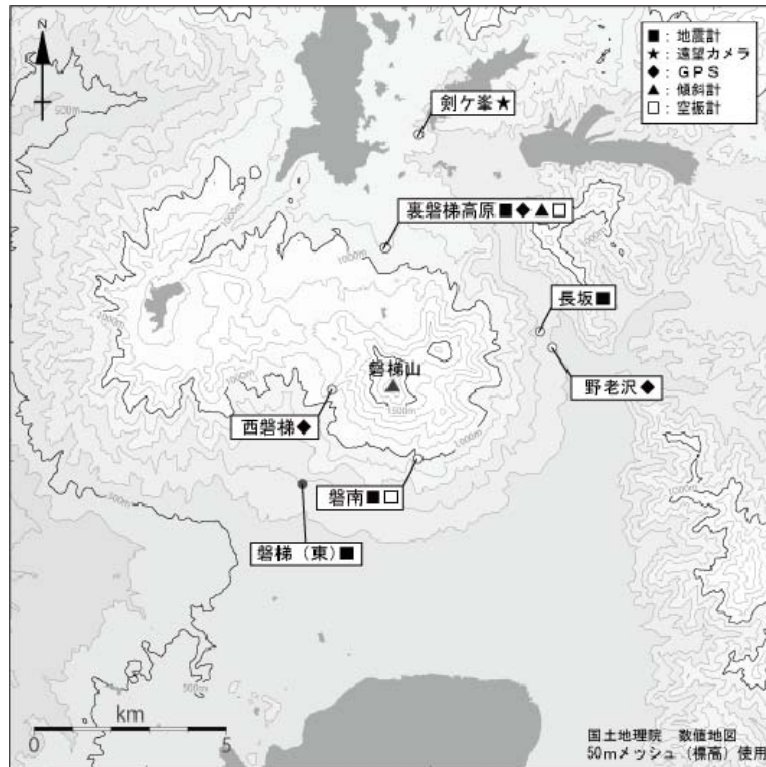


図5 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 （東）：東北大学

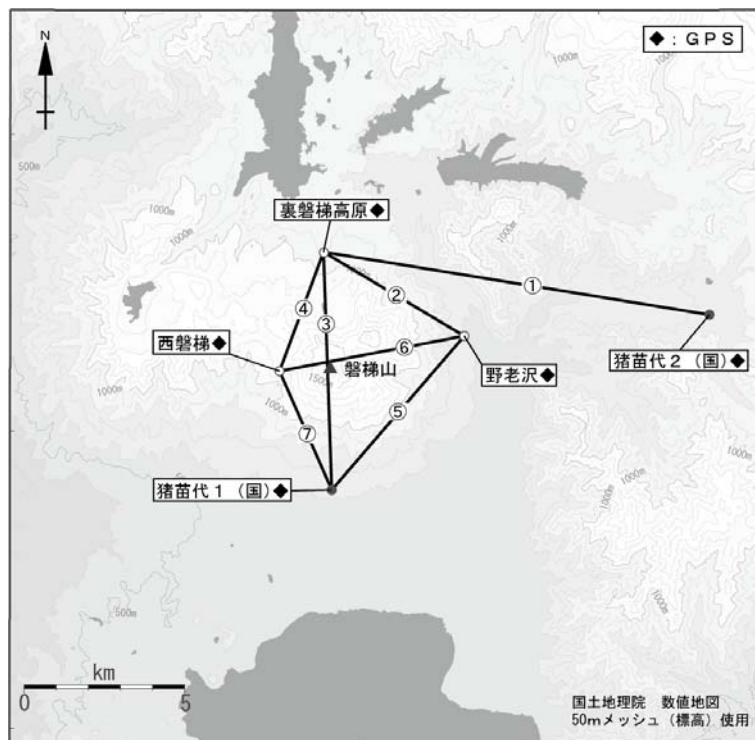


図6 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 （国）：国土地理院